

# 待望の地域WiMAX 「共用CSN事業」開始

Yasukawa Masahide  
保川昌英  
コスモエア(株)  
ASP事業部マネージャー

いよいよ待望の「共用CSN事業」がスタートする。本誌では何回か「共用CSN事業」の重要性について関連記事を掲載してきたが、2011年4月から、事業として「発進」となる。2010年には日本通信が事業展開構想を発表していたが、土壇場で逆転劇があり、地域WiMAX事業にとって暗雲が漂っていた。しかし、ようやく地域WiMAX推進協議会とコスモエア社の間で話がまとまり、サービスが現実化する。事業当事者のコスモエア社の担当者に、事業の概要についてまとめていただいた。なお、本誌35ページの記事と合わせてお読みいただきたい。(編集部)

## 地域WiMAX推進協議会の 目指す地域連携方式

コスモエア(株)(本社:東京都大田区/代表取締役社長:村上武人)は、地域WiMAX事業者様が共同で利用可能な加入者端末認証ASPサービス「共用CSNサービス」<sup>(\*)1</sup>の提供を、2011年4月より開始いたします。

本サービスにより、利用者端末の認証情報を統合し、WiMAXフォーラムで規定する方式に準拠したセキュアな認証手続き、及び地域WiMAX事業者が保有する異なるベンダーの基地局設備との相互接続性が確保され、複数の事業者間でのローミングが可能となります。これにより、地域WiMAXサービス利用者は、共用CSNサービスを利用する複数事業者がカバーするエリア内で、自由に地域WiMAXサービスが利用可能となります。本サービスは、地域WiMAX推進協議会<sup>(\*)2</sup>の目指す「全ての地域事業者の連携」を可能とする方式(「NSP<sup>(\*)3</sup>シェアリング型」共用CSNモデル)に準拠したものとします。

本サービスは、2011年3月1日より契約申込みの受付を開始し、協力事業者とのトライアルが完了次第、正式サービスに移行いたします。また、全国バンドのWiMAXサービス事業者(UQコミュニケーションズ)とのローミングサービスや、市販のWiMAX端末(リテール端末)

のアクティベーションを可能とするシステムについても順次提供する予定です。

弊社は、ネットワークサービスプロバイダーとして、地域WiMAXエリアを補完するメトロメッシュWi-Fiサービスとの認証基盤の統合、それによるWi-Fiエリアとのシームレスな相互接続(ローミング)サービスや、Androidマーケットプレイス<sup>(\*)4</sup>のASPサービス提供など、付加価値の高いサービスの開発・提供にも努め、地域WiMAX事業の自主性・主体性の確保とその長期的発展を支援して参ります。

## いよいよ各地域WiMAX事業者 間のローミングが実現

地域WiMAXは、地域が主体となって当該地域の特性、ニーズに応じたブロードバンドサービスを提供することにより、デジタル・ディバイドの解消、地域の公共サービスの向上等、当該地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした無線通信サービスです。

サービスの対象区域は市町村単位を基本としており、地域に特化した様々なサービスが検討され、すでにサービス開始をしている地域もあります。また、地域WiMAX事業者同士が連携し、当該地域以外でもサービスを受けられる地域ローミングが限定的に始まるなど、地域WiMAXはこれからますます発展が期待されるサービスです。

地域WiMAXで利用されている無線通信技術のMobile WiMAX(Worldwide Interoperability for Microwave Access)そのものは、無線MANの国際的な標準規格(IEEE802.16eで規定)であり、高速移動通信(最高時速120Kmでの高速移動通信が可能)、ワイドカバレッジ(1基地局で広域をカバー:モバイル利用で1~2Km半径、固定利用で5~10 Km半径)、高速通信(下り20Mbps/上り10Mbpsクラスの通信速度が可能)といった特徴があります。

地域WiMAXの使用周波数帯域は、2582MHz~2592MHzの10MHz帯が割り当てられており、事業者は免許制となっています。2008年度から事業者への免許付与が開始され、2009年4月から順次サービスが開始されています。

地域社会に適応するアプリケーションやサービス、利用料金で独自色が打ち出せるというメリットを持つ一方で、サービスが特定エリアに限定されるため、エリアの枠を越えて、全ての地域事業者で地域連携を図る「地域ローミング」を可能とする仕組みが必要とされてきました。

弊社は、地域WiMAX推進協議会の推進する地域連携方式(<http://www.chiiki-wimax.jp/about/regional.html>)に準拠した「共用CSNサービス」の提供を通して、全ての地域事業者間のローミングを実現・推進していきます。

\*1 CSN=Connectivity Service Network  
WiMAXシステムにおいて、AAA機能(Authentication, Authorization, Accounting)、ローミング、One-dayサービス等の付加サービス機能を提供し、制御するコアシステム。

\*2 地域WiMAX推進協議会  
シンポジウムの開催、地域WiMAXの事業や技術に関するマニュアルやガイドラインの発表、各分科会(コアネットワーク検討分科会、IOT推進分科会、事業促進分科会、利用促進分科会)による役割の実施を通じ、地域WiMAXの技術面や事業面の課題解決、普及促進と発展を目指す為に設立された組織。

\*3 NSP=Network Service Provider  
WiMAX Forumで規定されたCSN機能を提供する事業者のこと。コスモエアは、2010年9月、IEEEにNSPとして登録し、NSP-ID「00007E」を取得。

\*4 Androidマーケットプレイス  
AndroidスマートフォンやAndroidタブレット端末向けに、アプリケーション・動画・音楽・書籍・写真などのコンテンツの販売と購入の電子決済を行うシステム(セーバー株式会社(本社:愛媛県松山市 代表取締役社長:二宮宏)よりASPサービスとして提供)。

### 会社概要

社名:コスモエア(株)  
代表者:村上武人  
設立:2002年10月22日  
事業内容:ネットワークインテグレーション:  
ネットワークセキュリティ/認証/メールシステム的设计・構築、及び同ASP事業  
<http://www.cosmoair.co.jp/>